

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 公開特許公報(A)

(11) 特許出願公開番号

特開2005-299070

(P2005-299070A)

(43) 公開日 平成17年10月27日(2005. 10. 27)

(51) Int.Cl.⁷

A 4 1 D 7/00

A 4 1 D 31/00

A 4 1 D 31/02

F I

A 4 1 D 7/00

A 4 1 D 7/00

A 4 1 D 31/00

A 4 1 D 31/00

A 4 1 D 31/00

C

G

5 O 1 E

5 O 2 B

5 O 3 G

テーマコード (参考)

審査請求 未請求 請求項の数 36 O L (全 12 頁) 最終頁に続く

(21) 出願番号 特願2005-96949 (P2005-96949)

(22) 出願日 平成17年3月30日(2005. 3. 30)

(31) 優先権主張番号 10/822, 851

(32) 優先日 平成16年4月9日(2004. 4. 9)

(33) 優先権主張国 米国 (US)

(71) 出願人 505087849

ナイキ インコーポレーティッド

アメリカ合衆国 オレゴン州 ビーバート

ン ワン パウアーマン ドライブ

(74) 代理人 100102978

弁理士 清水 初志

(74) 代理人 100128048

弁理士 新見 浩一

(72) 発明者 ノードストロン マシュー ディー.

アメリカ合衆国 オレゴン州 ポートラン

ド ノースイースト 第51 アベニュー

2953

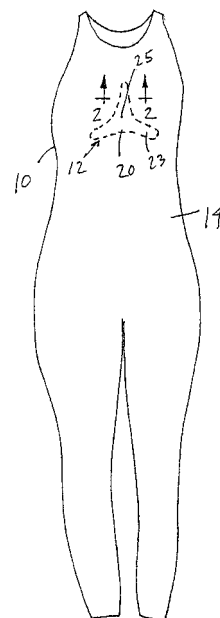
(54) 【発明の名称】 張力の大きくなる領域を有する衣料品

(57) 【要約】 (修正有)

【課題】 張力の大きくなる領域を有する衣料品を提供する。

【解決手段】 伸縮性織物で形成された材料本体を含む、体への適合性が改善された衣料品（水着等）を提供する。伸縮性材料片は、材料本体に固定されており、かつ、ユーザの体の身体構造上高い点の間の領域（腰部、乳房間、胸筋間、筋肉群間等）を少なくとも部分的に覆うように構成されたサイズおよび形状を有する。水着ではこれにより水がこの張り出し部へ入り込まなくなるので水による抵抗が減りより早く泳ぐことができる。

【選択図】 図1



【特許請求の範囲】

【請求項 1】

体への適合性が改善された衣料品であって、以下の組合せを含む衣料品：
伸縮性織物で形成された材料本体；ならびに
材料本体に固定され、かつ、ユーザの体の身体構造上高い点の間の領域を少なくとも部分的に覆うように構成されたサイズおよび形状を有する、伸縮性材料片。

【請求項 2】

材料片が材料本体の内面に固定される、請求項1記載の衣料品。

【請求項 3】

材料片および材料本体が同じ材料で形成される、請求項1記載の衣料品。

10

【請求項 4】

材料片が接着部材によって材料本体に固定される、請求項1記載の衣料品。

【請求項 5】

接着部材が熱可塑性ポリマーで形成される、請求項4記載の衣料品。

【請求項 6】

接着部材が、ポリウレタン、ポリアミド、ポリエステル、ポリオレフィン、ビニル、およびシリコンのうちの1つである、請求項4記載の衣料品。

【請求項 7】

材料片が、ユーザの背中の腰部領域に位置するように構成される、請求項1記載の衣料品。

20

【請求項 8】

材料片が、ユーザの乳房間に位置するように構成される、請求項1記載の衣料品。

【請求項 9】

材料片が、ユーザの胸筋間に位置するように構成される、請求項1記載の衣料品。

【請求項 10】

材料片が、ユーザの2つの筋肉群間に位置するように構成される、請求項1記載の衣料品。

【請求項 11】

材料本体に固定されたさらなる伸縮性材料片であって、材料片が位置する高い点とは異なるユーザの体の高い点の間に位置するように構成されたさらなる伸縮性材料片をさらに含む、請求項1記載の衣料品。

30

【請求項 12】

材料本体が、ポリエステルとスパンデックスの混合物で形成される、請求項1記載の衣料品。

【請求項 13】

材料片がシリコンで形成される、請求項1記載の衣料品。

【請求項 14】

材料片が、ポリエステルとスパンデックスの混合物で形成される、請求項1記載の衣料品。

【請求項 15】

材料片が、各辺がわずかに内側に湾曲した実質的に菱形の形状である、請求項1記載の衣料品。

40

【請求項 16】

材料片が、幅が高さよりも実質的に大きな実質的に平坦な菱形の形状である、請求項1記載の衣料品。

【請求項 17】

材料片が、それぞれ第1の端部で互いに連結された3つの細長い部材を含み、第1の細長い部材が、ユーザの胸骨から上向きにユーザの胸筋間を延びるように配置され、第2および第3の細長い部材が、互いからおよび第1の細長い部材から約120°離して配置される、請求項1記載の衣料品。

50

【請求項18】

材料片が、それぞれ第1の端部で互いに連結された3つの細長い部材を含み、第1の細長い部材が、ユーザの胸骨から上向きにユーザの胸筋間を延びるように配置され、第2および第3の細長い部材が、第1の細長い部材から外側に互いに逆方向に延びるように配置され、かつ口部が上向きに開放したわずかにカップ状の形を有する、請求項1記載の衣料品。

【請求項19】

体への適合性が改善された水着であって、以下の組合せを含む水着：
伸縮性織物で形成された水着本体；ならびに
水着本体に固定され、かつ、ユーザの体の身体構造上高い点の間の領域を少なくとも部分的に覆うように構成されたサイズおよび形状を有する、伸縮性材料片。

10

【請求項20】

材料片が材料本体の内面に固定される、請求項19記載の水着。

【請求項21】

材料片および材料本体が同じ材料で形成される、請求項19記載の水着。

【請求項22】

材料片が接着部材によって材料本体に固定される、請求項19記載の水着。

【請求項23】

接着部材が熱可塑性ポリマーで形成される、請求項22記載の水着。

【請求項24】

接着部材が、ポリウレタン、ポリアミド、ポリエステル、ポリオレフィン、ビニル、およびシリコンのうちの1つである、請求項22記載の水着。

20

【請求項25】

材料片が、ユーザの背中の腰部領域に位置するように構成される、請求項19記載の水着。

【請求項26】

材料片が、ユーザの乳房間に位置するように構成される、請求項19記載の水着。

【請求項27】

材料片が、ユーザの胸筋間に位置するように構成される、請求項19記載の水着。

【請求項28】

材料片が、ユーザの2つの筋肉群間に位置するように構成される、請求項19記載の水着。

30

【請求項29】

接着部材によって材料本体に固定されたさらなる伸縮性材料であって、材料片が位置する高い点とは異なるユーザの体の高い点の間に位置するように構成されたさらなる伸縮性材料片をさらに含む、請求項19記載の水着。

【請求項30】

材料本体が、ポリエステルとスパンデックスの混合物で形成される、請求項19記載の水着。

【請求項31】

材料片がシリコンで形成される、請求項19記載の水着。

40

【請求項32】

材料片が、ポリエステルとスパンデックスの混合物で形成される、請求項19記載の水着。

【請求項33】

材料片が、材料本体の背中の腰部領域に配置され、かつ、各辺がわずかに内側に湾曲した実質的に菱形の形状である、請求項19記載の水着。

【請求項34】

材料片が、材料本体の背中の腰部領域に配置され、かつ、幅が高さよりも実質的に大きな実質的に平坦な菱形の形状である、請求項19記載の水着。

【請求項35】

50

材料片が、それぞれ第1の端部で互いに連結された3つの細長い部材を含みかつ材料本体の正面に配置され、第1の細長い部材が、ユーザの胸骨から上向きにユーザの胸筋間を延びるように配置され、第2および第3の細長い部材が、互いからおおよび第1の細長い部材から約120°離して配置される、請求項19記載の水着。

【請求項36】

材料片が、それぞれ第1の端部で互いに連結された3つの細長い部材を含みかつ材料本体の正面に配置され、第1の細長い部材が、ユーザの胸骨から上向きにユーザの胸筋間を延びるように配置され、第2および第3の細長い部材が、第1の細長い部材から外側に互いに逆方向に延びるように配置され、かつ口部が上向きに開放したわずかにカップ状の形を有する、請求項19記載の水着。

【発明の詳細な説明】

【技術分野】

【0001】

本発明は概して、衣料品に関し、特に、ユーザが着用すると張力の大きくなる領域を有し、ユーザの体への適合性を向上させる衣料品に関する。

【背景技術】

【0002】

競泳用水着のようなある種の衣料品は、大部分がユーザの体にぴったり適合する、ポリエステル、スパンデックス、またはナイロンなどの伸縮性材料で形成することができる。しかし、このような伸縮性材料は、ユーザの体の身体構造上高い点の間で張出す傾向があり、これにより水着が水泳選手に接触しない領域が生じる。張出しが生じる領域の例としては、胸筋間、乳房間、およびユーザの背中の腰部領域が挙げられる。張出しが生じる水着で泳いだときに起こる問題とは、水着が水中に没するとこのような領域に水が満たされることであり、そのために水泳選手が支持すべき質量が増え、よって流体力学的な抵抗が大きくなり、成績が下がることである。

【0003】

この問題に対処する従来の試みとして、張出しが起こる領域に縫い目を追加することによって水着をデザインすることが挙げられる。この縫い目は通常、周囲の材料よりも伸縮が少なく、それにより張出し効果が弱まる。しかし、従来の縫い目は、抵抗を大きくし、そのためさらなる縫い目をもたらす利点は相殺されていた。

【発明の開示】

【発明が解決しようとする課題】

【0004】

本発明の目的は、従来の既知の対策に固有の問題のいくつかまたはすべてを軽減または解消する衣料品を提供することである。当技術分野の知識または経験を有する当業者には、以下の、本発明の開示および特定の好ましい態様の詳細な説明を考慮することによって、本発明の特定の目的および利点が明らかになる。

【課題を解決するための手段】

【0005】

概要

有利なことに、本発明の原理を用いて、ユーザが衣服を着用すると張力の大きくなる領域を有する衣料品を、提供することができる。

【0006】

第1の局面によれば、体への適合性が改善された衣料品には、伸縮性繊維で形成された材料本体が含まれる。伸縮性材料片は材料本体に固定され、かつ、ユーザの体の身体構造上高い点の間の領域を少なくとも部分的に覆うように構成されたサイズおよび形状を有する。

【0007】

本発明の他の局面によれば、体への適合性が改善された水着には、伸縮性繊維で形成された水着本体が含まれる。伸縮性材料片は水着本体に固定され、かつ、ユーザの体の身体

10

20

30

40

50

構造上高い点の間の領域を少なくとも部分的に覆うように構成されたサイズおよび形状を有する。

【0008】

張力の大きくなる領域を有する衣料品を提供することは、実質的に有利である。たとえば、本発明による水着は、ユーザが水着を着用すると張力の大きくなる領域を備えることができる。張力の大きくなる領域は、ユーザの体の身体構造上高い位置にある部分間の領域で張出しが起こる可能性のあるポケットを形成する傾向を軽減する。これは、このような領域内に水が蓄積される傾向を軽減し、ユーザが支持すべき質量を少なくでき、それによって流体力学的な抵抗を小さくし成績を向上させるため、極めて有利である。

【0009】

本明細書に開示される本発明のこれらおよび他の特徴および利点は、特定の好ましい態様についての以下の詳細な開示からさらに理解されよう。

【0010】

引用される図面は、必ずしも一定の比率で縮小して描かれてはおらず、関連する原理を例示する本発明の模式図を提供するものと理解すべきである。図面に示されている、張力の大きくなる領域を有する衣料品の特徴のいくつかは、説明および理解を容易にするために他の特徴に対して拡大または湾曲されている。各図面では、様々な態様に示されている同様または同一の構成要素および特徴に対して、同じ参照番号が使用されている。本明細書に開示された張力の大きくなる領域を有する衣料品は、意図される用途および使用環境によって部分的に決定される構成および構成要素を有する。

【0011】

本発明(1)は、体への適合性が改善された衣料品であって、以下の組合せを含む衣料品である：

伸縮性織物で形成された材料本体；ならびに

材料本体に固定され、かつ、ユーザの体の身体構造上高い点の間の領域を少なくとも部分的に覆うように構成されたサイズおよび形状を有する、伸縮性材料片。

本発明(2)は、材料片が材料本体の内面に固定される、本発明(1)の衣料品である。

本発明(3)は、材料片および材料本体が同じ材料で形成される、本発明(1)の衣料品である。

本発明(4)は、材料片が接着部材によって材料本体に固定される、本発明(1)の衣料品である。

本発明(5)は、接着部材が熱可塑性ポリマーで形成される、本発明(4)の衣料品である。

本発明(6)は、接着部材が、ポリウレタン、ポリアミド、ポリエステル、ポリオレフィン、ビニル、およびシリコンのうちの1つである、本発明(4)の衣料品である。

本発明(7)は、材料片が、ユーザの背中の腰部領域に位置するように構成される、本発明(1)の衣料品である。

本発明(8)は、材料片が、ユーザの乳房間に位置するように構成される、本発明(1)の衣料品である。

本発明(9)は、材料片が、ユーザの胸筋間に位置するように構成される、本発明(1)の衣料品である。

本発明(10)は、材料片が、ユーザの2つの筋肉群間に位置するように構成される、本発明(1)の衣料品である。

本発明(11)は、材料本体に固定されたさらなる伸縮性材料片であって、材料片が位置する高い点とは異なるユーザの体の高い点の間に位置するように構成されたさらなる伸縮性材料片をさらに含む、本発明(1)の衣料品である。

本発明(12)は、材料本体が、ポリエステルとスパンデックスの混合物で形成される、本発明(1)の衣料品である。

本発明(13)は、材料片がシリコンで形成される、本発明(1)の衣料品である。

本発明(14)は、材料片が、ポリエステルとスパンデックスの混合物で形成される、

10

20

30

40

50

本発明(1)の衣料品である。

本発明(15)は、材料片が、各辺がわずかに内側に湾曲した実質的に菱形の形状である、本発明(1)の衣料品である。

本発明(16)は、材料片が、幅が高さよりも実質的に大きな実質的に平坦な菱形の形状である、本発明(1)の衣料品である。

本発明(17)は、材料片が、それぞれ第1の端部で互いに連結された3つの細長い部材を含み、第1の細長い部材が、ユーザの胸骨から上向きにユーザの胸筋間を延びるように配置され、第2および第3の細長い部材が、互いからおおよそ第1の細長い部材から約120°離して配置される、本発明(1)の衣料品である。

本発明(18)は、材料片が、それぞれ第1の端部で互いに連結された3つの細長い部材を含み、第1の細長い部材が、ユーザの胸骨から上向きにユーザの胸筋間を延びるように配置され、第2および第3の細長い部材が、第1の細長い部材から外側に互いに逆方向に延びるように配置され、かつ口部が上向きに開放したわずかにカップ状の形を有する、本発明(1)の衣料品である。 10

本発明(19)は、体への適合性が改善された水着であって、以下の組合せを含む水着である：

伸縮性織物で形成された水着本体；ならびに

水着本体に固定され、かつ、ユーザの体の身体構造上高い点の間の領域を少なくとも部分的に覆うように構成されたサイズおよび形状を有する、伸縮性材料片。

本発明(20)は、材料片が材料本体の内面に固定される、本発明(19)の水着である。 20

本発明(21)は、材料片および材料本体が同じ材料で形成される、本発明(19)の水着である。

本発明(22)は、材料片が接着部材によって材料本体に固定される、本発明(19)の水着である。

本発明(23)は、接着部材が熱可塑性ポリマーで形成される、本発明(22)の水着である。

本発明(24)は、接着部材が、ポリウレタン、ポリアミド、ポリエステル、ポリオレフィン、ビニル、およびシリコンのうちの1つである、本発明(22)の水着である。

本発明(25)は、材料片が、ユーザの背中の腰部領域に位置するように構成される、本発明(19)の水着である。 30

本発明(26)は、材料片が、ユーザの乳房間に位置するように構成される、本発明(19)の水着である。

本発明(27)は、材料片が、ユーザの胸筋間に位置するように構成される、本発明(19)の水着である。

本発明(28)は、材料片が、ユーザの2つの筋肉群間に位置するように構成される、本発明(19)の水着である。

本発明(29)は、接着部材によって材料本体に固定されたさらなる伸縮性材料であって、材料片が位置する高い点とは異なるユーザの体の高い点の間に位置するように構成されたさらなる伸縮性材料片をさらに含む、本発明(19)の水着である。

本発明(30)は、材料本体が、ポリエステルとスパンデックスの混合物で形成される、本発明(19)の水着である。 40

本発明(31)は、材料片がシリコンで形成される、本発明(19)の水着である。

本発明(32)は、材料片が、ポリエステルとスパンデックスの混合物で形成される、本発明(19)の水着である。

本発明(33)は、材料片が、材料本体の背中の腰部領域に配置され、かつ、各辺がわずかに内側に湾曲した実質的に菱形の形状である、本発明(19)の水着である。

本発明(34)は、材料片が、材料本体の背中の腰部領域に配置され、かつ、幅が高さよりも実質的に大きな実質的に平坦な菱形の形状である、本発明(19)の水着である。

本発明(35)は、材料片が、それぞれ第1の端部で互いに連結された3つの細長い部材を含みかつ材料本体の正面に配置され、第1の細長い部材が、ユーザの胸骨から上向きに 50

ユーザの胸筋間を延びるように配置され、第2および第3の細長い部材が、互いからおよび第1の細長い部材から約120°離して配置される、本発明(19)の水着である。

本発明(36)は、材料片が、それぞれ第1の端部で互いに連結された3つの細長い部材を含みかつ材料本体の正面に配置され、第1の細長い部材が、ユーザの胸骨から上向きにユーザの胸筋間を延びるように配置され、第2および第3の細長い部材が、第1の細長い部材から外側に互いに逆方向に延びるように配置され、かつ口部が上向きに開放したわずかにカップ状の形を有する、本発明(19)の水着である。

【発明の効果】

【0012】

本発明により、張力の大きくなる領域を有する衣料品が提供された。

10

【発明を実施するための最良の形態】

【0013】

本発明は様々な形態で実施することができる。衣料品の好ましい態様は、図1に水着10として示されている。本明細書に示されている態様は水着であるが、水着以外の衣料品が本発明の範囲内であるとみなされることを理解されたい。好ましい態様では、水着10は伸縮性材料で形成されており、これにより、水着がユーザの体の上で伸び、ユーザの体にぴったり密着するように適合することができ、ユーザが水中を泳ぐときの抵抗が小さくなる。

【0014】

水着10は、ユーザが水着10を着用すると張力の大きくなる領域を有する少なくとも1つの領域12を有している。張力の大きくなる領域12は好ましくは、ユーザの体の身体構造上高い位置にある2つ以上の点の間の領域に位置している。図1に示されている態様では、張力の大きくなる第1の領域12は、水着10の前部14におけるユーザの乳房間に位置している。好ましい態様における張力の大きくなる領域12の構成は、図2においてより明確に示されている。この態様では、材料片20が、接着部材24によって水着本体10の内面22に固定されている。この態様における材料20は、水着10の内面22に固定されるが、他の好ましい態様では、材料20を水着10の外面に固定してもよいことを理解されたい。材料20は、任意の所望の形状を有してよく、好ましくは、ユーザの体の、水着10が張り出す傾向のある高い点の間の領域を実質的に覆う。この態様においては、図1に示されるように、材料20が、中央部25から外側に延びた3つの細長い部材23で形成されており、細長い部材は互いに約120°離して配置された。

20

30

【0015】

好ましい態様では、材料片20は水着10と同じ材料で形成される。水着10および材料片20の例示的な材料には、ポリエステル、LYCRA(登録商標)(一種のスパンデックス)、ナイロン、およびエラストンが含まれる。好ましい態様では、水着10および材料片20は、ポリエステルとスパンデックスの混合物で形成されている。本開示の恩典から判断すれば、当業者には他の適切な材料が容易に明らかになる。

【0016】

接着部材24は、熱および圧力を加えることによって水着10および材料20に接着する熱可塑性ポリマーであってよく、安定した接着部を提供し、水着10と材料20を一つに圧縮する。適切な接着部を形成するのに必要な熱および圧力の量は、接着部材24に用いられる実際の材料に応じて異なる。接着部材24の例示的な材料には、ポリウレタン、ポリアミド、ポリエステル、ポリオレフィン、ビニル、およびシリコンが含まれる。1つまたは複数のこれらの材料で形成される適切な熱可塑性ポリマーは、マサチューセッツ州シャーリーの Bemis Associates, Inc. から入手することができる。図示されているように、熱および圧力は、接着部材24を、水着10および材料20の構造に浸透する程度に軟化または溶融させる。接着部材24が冷却されると、水着10と材料20を安定的に接着する。他の態様では、接着部材24は、無線周波数または超音波接着によって接着部を形成する材料であってよい。本開示の恩典から判断すれば、当業者には他の適切な接着材料が容易に明らかになる。

40

【0017】

50

ある好ましい態様では、最初に、接着部材24および水着10または材料20に熱および圧力を加えて接着部を形成する加熱装置のプラテン（図示しない）によって、接着部材24を水着10または材料20のいずれか一方に塗布することができる。通常、紙の担体シート（図示しない）、接着部材24よりも融点の高いポリマー、または他の任意の適切な材料を接着部材24の一方の側に用いて、接着剤が加熱装置に接着するのを防止する。接着部材24を水着10または材料20に塗布した後、担体シートを取り外し、次いで加熱装置を用いて水着10または材料20の残りの他方を接着する。無線周波数および超音波接着を利用して接着部材24と水着10または材料20との間に接着部を形成してもよいことを理解されたい。接着部材24を水着10と材料20の両方に同時に接着してもよいことを理解されたい。

【0018】

接着部材24を溶融させるのに利用される熱の程度は、水着10、材料20、および接着部材24を形成する材料に基本的に依存する。水着10および／または材料20の溶融が、所望の接着部の形成を意図したものでない限り、熱は、接着部材24が溶融する前に水着10または材料20を溶融させたりまたはさもなくば損傷させることのない程度であるべきである。しかし、この点は別として、熱および圧力の程度は一般に、接着部材24を形成する特定の材料に関係する。たとえば、接着部材24がポリウレタン材料であるときに接着部を形成するには、一般的には、華氏350度で1平方インチ当たり40ポンドの圧力を15秒間加えれば十分である。同様に、接着部材24がビニル材料またはポリアミド材料であるときに接着部を形成するには、一般的には、華氏325度から375度の間で1平方インチ当たり60ポンドから80ポンドの間の圧力を10秒間から15秒間加えれば十分である。その後冷却すると、接着部材40の一部が第2の織物部材30中の個々の繊維またはフィラメントの周りで凝固し、それによって安定した接着部が形成される。

【0019】

他の態様では、別個の接着層を用いずに材料を直接水着10に貼り付けることによって、張力の大きくなる領域12を形成することができる。たとえば、シリコンなどの材料を、シルクスクリーニングなどによって、水着10に直接貼り付けることができる。この態様では、シリコンを水着10の内面または外面のどちらかに貼り付けることができる。材料層を水着10に固定して張力の大きくなる領域を形成するための他の方法は、本開示の恩典から判断すれば、当業者に容易に明らかになる。

【0020】

ユーザが水着10を着用すると、2つの材料層を有する張力の大きくなる領域12は、水着10の残りの領域ほどは伸縮せず、したがって、その領域における張力または応力が大きくなる。張力の大きくなる領域において、ユーザが泳ぐときに水を保持するポケットが形成される傾向が弱まるため、このような大きな張力は有利である。これによって、ユーザが支持すべき質量が少なくなり、したがって抵抗が小さくなり、成績が向上する。

【0021】

図3に示されているように、張力の大きくなる第2の領域26は、水着10の背中部30の腰部領域28に存在している。張力の大きくなる第2の領域26は、張力の大きくなる第1の領域12について上述したのと同じ構成、すなわち、接着部材24によって水着10に固定された材料片20を有している。この態様では、張力の大きくなる第2の領域26を形成する材料20は、各辺がわずかに内側に湾曲した実質的にダイヤモンド状の形状を有している。

【0022】

上記に指摘したように、材料20と接着部材24の複合材料は、水着10の張出しを最小限に抑えるように任意の所望の形状をとることができる。水着10の前部14の張力の大きくなる領域32が、ユーザの胸骨においてそれぞれ第1の端部で連結された一対の細長い部材34で形状されている、もう一つの態様が図4に示されている。細長い部材34は外側に延び、かつわずかにカップ状である。カップ状開口部の口部は、細長い部材がユーザの胸筋の底部の周りでわずかに上向きに湾曲するように上向きに開放している。第3の細長い部材35が、その第1の端部で、細長い部材34の第1の端部に連結され、ユーザの胸部に沿って胸筋間を上向きに延びている。この態様では、シール37が水着10の上縁部39の周りに形成され、

10

20

30

40

50

細長い部材34、35はシール37まで延びている。ある好ましい態様では細長い部材34、35がシール37まで延びなくてよいことを理解されたい。

【0023】

張力の大きくなる領域36が水着10の背中部30の腰部領域28に存在するさらなる態様が、図5に示されている。張力の大きくなる領域36は、幅が高さよりも実質的に大きな平坦なダイヤモンドの形を有している。

【0024】

張力の大きくなる領域38が水着10の前部14に存在するさらに別の態様が、図6に示されている。張力の大きくなる領域38は、上述した、図1の張力の大きくなる領域に類似している。張力の大きくなる領域38は、ユーザの胸筋から外側に延びる3つの細長い部材40、42、44で形成されている。第1の細長い部材40はユーザの胸筋間を上向きに延びている。第2および第3の細長い部材42、44は、ユーザの胸骨から下向きかつ外側に延び、互いからおよび第1の細長い部材40から約120°離して配置されている。

【0025】

したがって、水着10には任意の数の張力の大きくなる領域を設けることができ、かつこれらの領域が任意の所望の形状を有してよいことが、理解されよう。このような張力の大きくなる領域は、ユーザの体の身体構造上高い点の間に配置することが望ましい。よって、上述したように、張力の大きくなる領域を、ユーザの胸筋間または任意の2つの筋肉群間の空間に設けることができる。張力の大きくなる領域を配置するのに適切な、水着10上の他の領域は、本開示の恩典から判断すれば、当業者に容易に明らかになるだろう。

【0026】

上述のように、本発明の開示および好ましい態様の説明を考慮すると、本発明の範囲および要旨から逸脱することなく様々な修正および適合化を行えることが、当業者には容易に理解されよう。このような修正および適合化は全て、添付の特許請求の範囲に含まれることが意図される。

【図面の簡単な説明】

【0027】

【図1】本発明の好ましい態様による衣料品の正面図である。

【図2】図1の衣料品の張力の大きくなる領域の、図1の線2-2に沿った断面図である。

【図3】本発明のもう一つの好ましい態様による衣料品の背面図である。

【図4】本発明による衣料品の別の態様の正面図である。

【図5】本発明による衣料品の別の態様の正面図である。

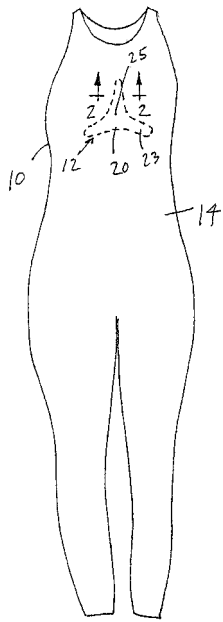
【図6】本発明による衣料品のさらに別の態様の背面図である。

【符号の説明】

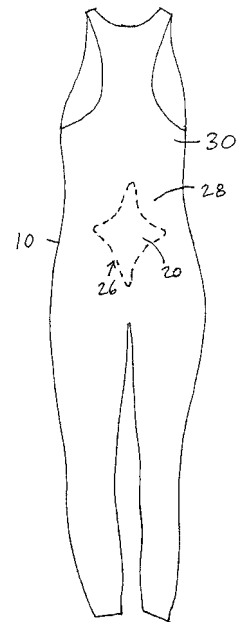
【0028】

10 水着；14 前部；12、26、32、36、38 張力の大きくなる領域；20 材料片；22 内面；23、34、35、40、42、44 細長い部材；24 接着部材；25 中央部；28 腰部領域；30 背中部；37 シール；39 上縁部。

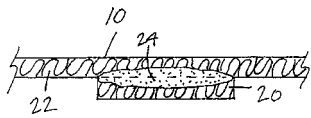
【図 1】



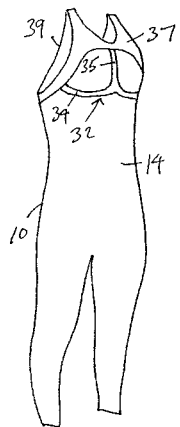
【図 3】



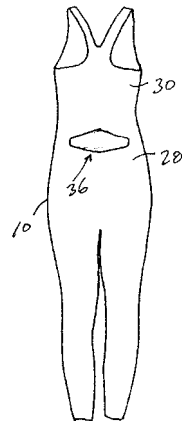
【図 2】



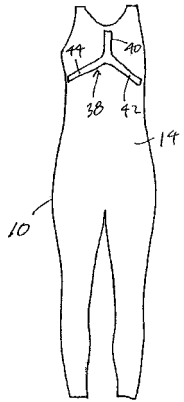
【図 4】



【図 5】



【図 6】



フロントページの続き

(51)Int.Cl.⁷

F I

テーマコード (参考)

A 4 1 D 31/00 5 0 3 K

A 4 1 D 31/00 5 0 4 F

A 4 1 D 31/02 A